

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぽっ歩		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R7年 7月 1日		～ R7年 7月 31日
○従業者評価有効回答数		9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 8月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置にゆとりがあり、丁寧な支援を行っている。	・ミュージック・ケア ・子ども会議 ・自己表出するためのツール	・職員研修 ・ケースカンファレンスの日常化
2	保護者に対する面談や相談	誕生日別の面談に移行し、保護者と共に支援計画の作成を行っている。	モニタリングの担当制による職員の主体性と、気付いたことを共有し、支援方針の実行と見直しを行いたい。
3	子どもたちは、他の事業所・学校に比べて、通所を楽しみにしている。	一人一人のニーズや家庭環境を考慮する為に送迎時、保護者との申し送りを大切にしている。	ラインなどで、利用者の様子を写真や動画で伝えられる仕組みづくりを作成する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な会報やホームページの活用が不十分。	年4回お便りを出すことを目標にしているが、技術・時間不足で上手く作れていない。	担当者を分担することで、個人の負担の軽減をはかりたい。
2	保護者会など、事業所を中心に保護者間の関係をつなぐ機会がない。	コロナ渦後、保護者を巻き込む行事がなくなった。	ミュージック・ケアの親子参加やクッキング・外出などを企画し、保護者同士、親しくなれる機会を持ちたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ぼっ歩

公表日 令和7年5月1日

利用児童数 38名

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配置が適切になされているか	22	5				
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	27					
	5 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	25	2				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	11	4	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者の負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1			いつも子どもが何を考えているのか、どうしようとしているのかを見守りながら支援してくださいありがとうございます。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	8	6	1	進学の際に先輩パパママさんから集まりなど、いろんな話を聞けたらな、と思います。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	3		1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	3		1		
非 常 時 等 の 対 応	14 個人情報に十分に注意しているか	25	1		1		
	15 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	27					
満 足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3				
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24	3				
	18 事業所の支援に満足しているか	27					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスぼっ歩		R7 年 8 月 1日			
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・改善した点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	利用人数が多い日は、空間の確保のために、午前午後で半数ずつ外出をしたりしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		利用人数に対して職員の配置が多く、きめ細かい支援ができることが多いです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		利用する子どもたちの様子に合わせて随時模様替えをしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	今はカーテンで仕切られた場所をクールダウンに使っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日打ち合わせ振り返りを実施している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		毎日打ち合わせ振り返りを実施している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		近くの公園でよく集団遊びをしている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		泉北ベースで協議会の方々と情報共有を行っている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		コロナ前は、大セッション・ミュージック・ケア・夏祭り等に家族参加（希望）してもらっていたが、今は、年1回の大セッションのみになってしまった。 ミュージック・ケアの大セッションを通して子どもへの接し方、アドバイスをを行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		PECS・感情カード
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		ミュージック・ケア大セッション
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	アレルギーの把握は家族との連携で出来ているが、指示書は手元にはない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		